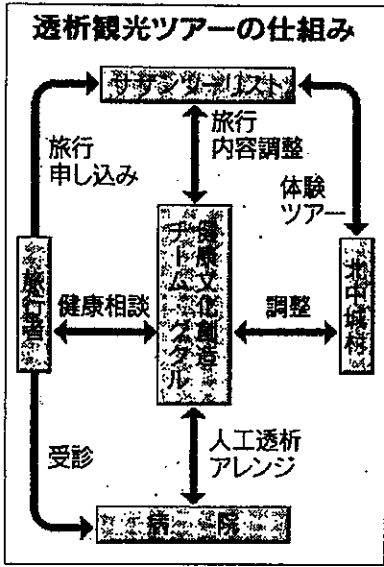


# サザンリスト 人工透析付き沖縄ツアー

## 食事管理助言 医療観光、新たな柱

沖縄県の旅行大手、サザンツーリスト(那覇市、宇栄原道男社長)は、地元の有責任事業組合(LLP)と共同で、人工透析を組み入れた沖縄観光ツアーを発売する。県内で人工透析ができる医療機関を手配するほか、観光案内や地元住民との交流会も提供する。沖縄の長寿や癒やしのイメージを生かし、政府も普及に力を入れる「医療観光」を新たな旅行商品の柱にする。



「沖縄人工透析ツアー」(村)と企画。グループは企業や自治体向けの健康相談を手掛けるほか、栄養

バランスに配慮した食事を提供するカフェを運営している。主にグループが医療機関の予約や旅行中の透析患者のケアを、サザンツーリストが販売を担当する。旅行日数は3泊4日。事前に電話で透析患者の症状を詳しく聞いたうえで、病院や診療所を手配する。人工透析治療以外の日程は基本的に自由行

動だが、滞在期間中はグループの栄養士や保健師が、食事など健康管理をアドバイスする。また、希望者には北中城村在住のボランティア

が同村の世界遺産の中城城跡や、中村家住宅を案内。シーサー作りや、長寿で知られる同村の住民との交流会など、体験型ツアーも提供する。価格はレンタカー・朝食付きで東京発1人10万円前後(宿泊費と交通費、医療機関の手配含む)。10月末からインターネットなどで販売し、初年度は4500万円の売り上げを目指す。

サザンツーリストによると、沖縄旅行に訪れる透析患者は年1000人。ただ、自ら医療機関を探すケースが大半という。同社は安心して旅行できる商品売り物に集客を図る。沖縄県では医療観光を新たな産業の柱にしようと官民挙げた動きが活発だ。内閣府沖縄総合事務局(那覇市)は、医療観光を具現化するための研

究会を立ち上げ議論を進めている。旅行会社の中央ツーリスト(同市)もひざ治療を目的とした観光商品を販売した。